枕草子

作・画／吉永直子

※作品をもとにし、それをなぞったり変えたりしながら自分なりの表現をすること。

▲春夏秋冬すべて翻作すると大変なので、季節を一つにしぼりましょう。

次の授業で続きを書いてみようね
日を改めると子どもたちは友だちの作ったものを聞いたり他の物事が気になったりして自然に翻作が進みます。
……
わろし。
「わろし」も入れたいな
自分流『枕草子』できたかな？
できたー!!!
夏は昼。せみの音はいと美くてをかし。夜になると音色だけであはれなり。
夏は冷ぼう。よくきいている部屋での昼ねはすずしくてをかし。急に切られるとイライラしてわろし。
のびのびとおもしろい翻作ができるんですね
そうです自分の感覚を昔風に表現することで古典をぐっと身近に感じることができます
次回も楽しい授業をご紹介します
つづく